

ORGANO GROUP REPORT 2024

オルガノグループレポート



イントロダクション

読者の皆さまへ

オルガノグループは、私たちににとって大切なステークホルダーの皆さまと積極的な対話を促進するためにオルガノグループレポートを2020年より毎年発行しています。このレポートでは、長期経営計画であるORGANO 2030を実現するための事業環境・経営戦略を支える財務情報、そして成長を支える基盤としての「環境・社会・ガバナンス(ESG)」といった非財務情報を掲載しています。

読んでいただきたいポイント

- 人的資本の強化と生産性の向上に注力し新たなステージを目指す当社社長のメッセージ
- 当社の価値創造プロセスを軸に、価値創造の源泉となる経営資本を開示し、経営戦略の実行力を訴求
- サステナビリティについては、人的資本戦略、TCFD提言に基づく情報の充実

本レポートを通じて、当社が技術で社会課題を解決し持続可能な社会の実現に貢献する企業であることをご理解いただけますと幸いです。当社は引き続き、ステークホルダーの皆さまへの適時・的確な情報開示と積極的な対話を通して、さらなる企業価値向上につなげてまいります。

【参考にしたガイドライン】

IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省「価値協創ガイダンス」
環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
ISO26000:2010 社会的責任に関する手引き

【将来の見通しに関する注意事項】

本レポートの将来の見通しについての記述は、現時点で入手可能な情報に基づき合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因の変化により大きく異なることがあることをご承知おきください。

情報開示体系(コミュニケーションの全体像)

	株主・投資家向け情報	サステナビリティ情報
報告書	オルガノグループレポート	
	有価証券報告書	
	コーポレート・ガバナンス報告書	株主通信
WEB	IRサイト	サステナビリティサイト
対話	決算説明会	株主総会
	個別ミーティング	

IR情報
<https://www.organo.co.jp/ir/#ir>



サステナビリティ
<https://www.organo.co.jp/sustainability/>



目次

イントロダクション	
読者の皆さまへ	1
目次	2
オルガノグループの目指す姿	
経営理念／サステナビリティ方針	3
長期経営ビジョン	4
トップメッセージ	5
長期経営計画ORGANO 2030	9
オルガノグループの価値創造	
オルガノグループの事業	11
オルガノグループの歩み	13
価値創造のプロセス	15
3つの強み	17
オルガノグループの製品・技術が提供する価値	21
ビジネスモデル	23
経営資源	25
オルガノグループの成長戦略	
中期経営計画(2024-2026)	27
財務戦略	29
水処理エンジニアリング事業	31
機能商品事業	35
研究開発、技術開発	37
製造拠点	40
海外事業展開	41
新しい顧客価値創出への取り組み	43
人材戦略	45
オルガノグループのサステナビリティ	
サステナビリティマネジメント	49
ガバナンス	53
環境	63
社会	71
コーポレートデータ	
財務／非財務情報	75
連結貸借対照表	77
連結損益計算書／連結包括利益計算書	78
連結株主資本等変動計算書	79
連結キャッシュ・フロー計算書	80
会社情報／外部からの評価・指数への採用	81
ネットワーク(国内／海外)	82



トップメッセージ

業績が好調な今こそさらなる成長を目指し、近い将来を見据えた準備を整え、当社グループが新たなステージに移行するために変わっていくべき大切な時期だと考えています。



人材戦略

国内事業、海外事業のさらなる展開を図るためにも、多様な人材の採用、育成体制の強化が重要であり、従業員のエンゲージメント向上を図りパフォーマンスの最大化を目指します。



環境:TCFD提言に基づく情報開示

気候変動は当社グループの事業活動に影響を及ぼす重要課題の一つです。TCFDの気候関連開示フレームワークに沿って情報を開示します。



社名の由来

当社の基幹材でありますイオン交換樹脂は、天然産の無機ゼオライトに対して、有機ゼオライト(オルガニックゼオライト)、略名「オルガノライト」と呼ばれており、これが当社の社名の由来です。

本レポートに掲載されている「エコクリスタ、ビューリック」は、オルガノ株式会社の登録商標または商標です。

長期経営計画 ORGANO 2030

経営理念、長期経営ビジョンをどう実現するか、また未来の社会環境において当社グループがどうありたいかを議論してまいりました。この議論に基づき2020年度に策定した長期経営計画ORGANO 2030を中期経営計画や単年度の計画に落とし込み、具体的なアクションを進めています。

2027年

新たなビジネス・
展開地域の拡大

- 米国での事業拡大
- 薬品など機能商品の海外展開拡大
- 新たなソリューションサービスの
拡充・展開

2028年

2029年

2030年

グローバルでの
パートナー企業へ

2024年

業務の効率化と
新たなビジネス創出

- エンジニアリング業務の効率化・
キャパシティ拡大
- 新たな水処理・分離精製技術・
ソリューションサービスなどの
開発強化
- 各国・地域での事業体制拡充

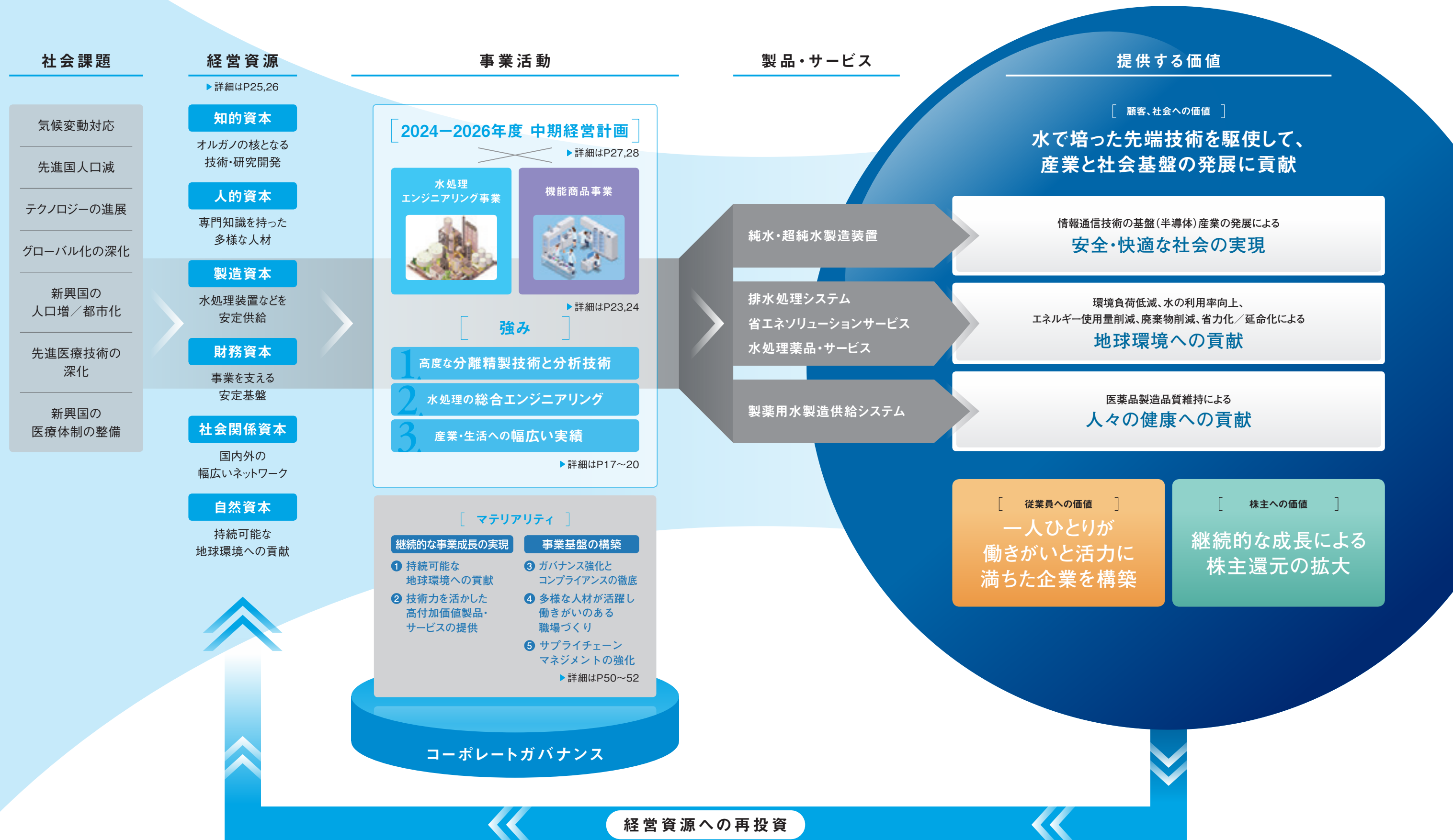
- 先端半導体分野
トップ企業のパートナーへ
- 差別化された特定分野
水処理薬品／機能材料の
ファーストチョイス企業へ
- サステナビリティ目標の達成

○ 2030年度 業績イメージ	
売上高	2,000億円
営業利益	300億円
営業利益率	15%
ROE	安定的に12%以上

○ サステナビリティ目標 (2030年度)	
Water	当社が納入する装置が浄化処理し、 外部に放流される排水量
	累計 6,000万㎡
CO ₂	当社が納入する装置が浄化処理し、 回収されリサイクルされる水量
	累計 25,000万㎡
CO ₂	Scope1・2 CO ₂ 排出量削減率 (Scope3削減目標はP66参照)
	42% 削減
Sludge	当社の技術・製品の適用による CO ₂ 削減量
	累計 32,000 t-CO ₂
Sludge	当社の技術・製品の適用による 汚泥削減量
	累計 10,000 t
*汚泥:排水処理の過程で発生する廃棄物	

価値創造のプロセス

水処理エンジニアリング事業をコアとしながら、オルガノの役割をさらに広げ、分離精製・分析・製造技術を強みとし、水以外にも事業領域と展開地域を拡大し、産業と社会の価値創造と課題解決を推進する製品・サービスを絶えず提供します。

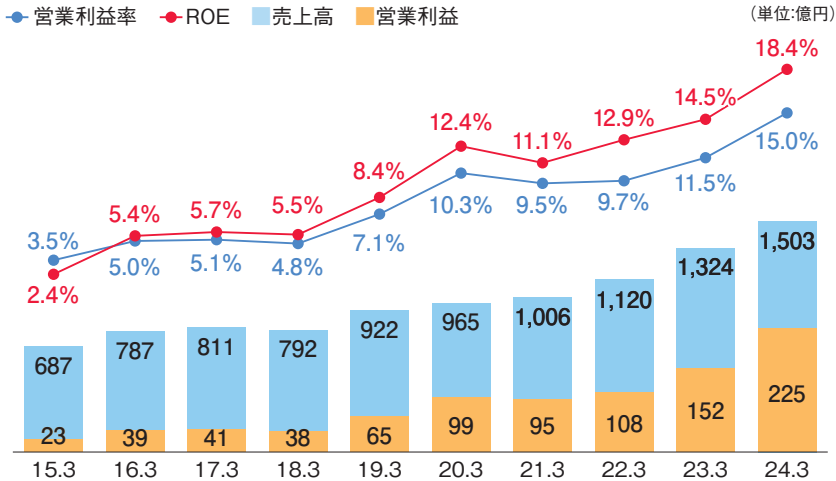


中期経営計画(2024-2026)

過去10年の振り返り

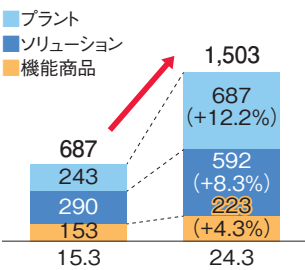
2014年度と比較して2023年度は売上高で約2倍、営業利益で約10倍と飛躍的な伸びとなっており、新たなステージを迎えています。

- プラントの売上拡大に伴ってソリューション・機能商品の売上も成長
- 国内海外とも電子産業分野を中心に成長、海外は特に台湾、中国、マレーシア等で拡大
- 収益性の改善はソリューション、機能商品の売上拡大に加え、プラント案件の採算性向上が寄与

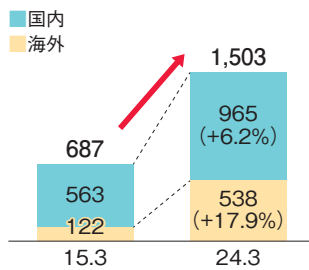


売上構成の比較(カッコ内はCAGR)

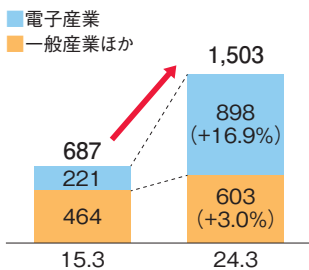
事業分野別比較



地域別比較



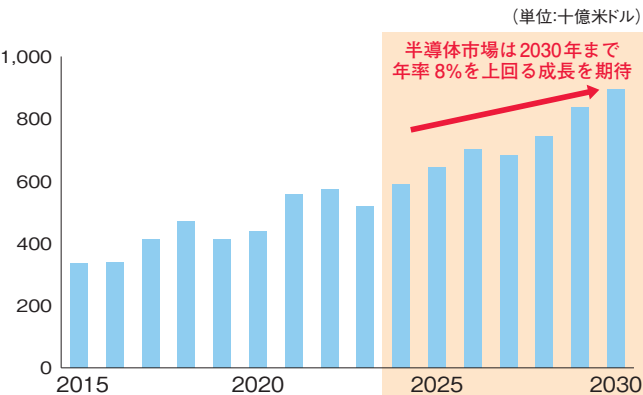
市場別比較



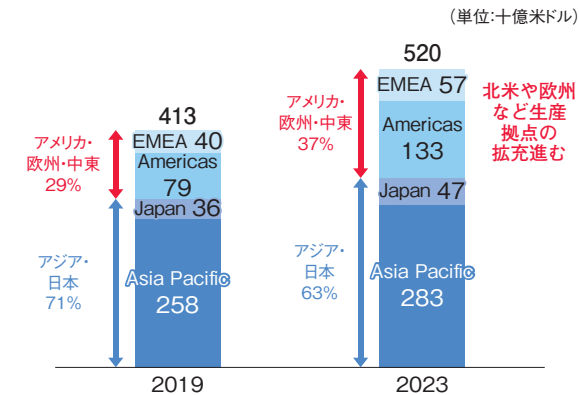
市場予測

- AIやEV等の進展により2030年までの半導体市場は2015年～2023年までの成長率を上回る成長を期待。これに伴い半導体材料や電子部品等の需要も拡大
- 米中摩擦や台湾問題等地政学リスクを背景に、半導体サプライチェーンの世界的な再構築が進む。アジアからアメリカ・欧州等に生産拠点を分散する動きが進む

半導体市場予測(WSTS*予測より当社想定)



地域別半導体市場(WSTS調べ)

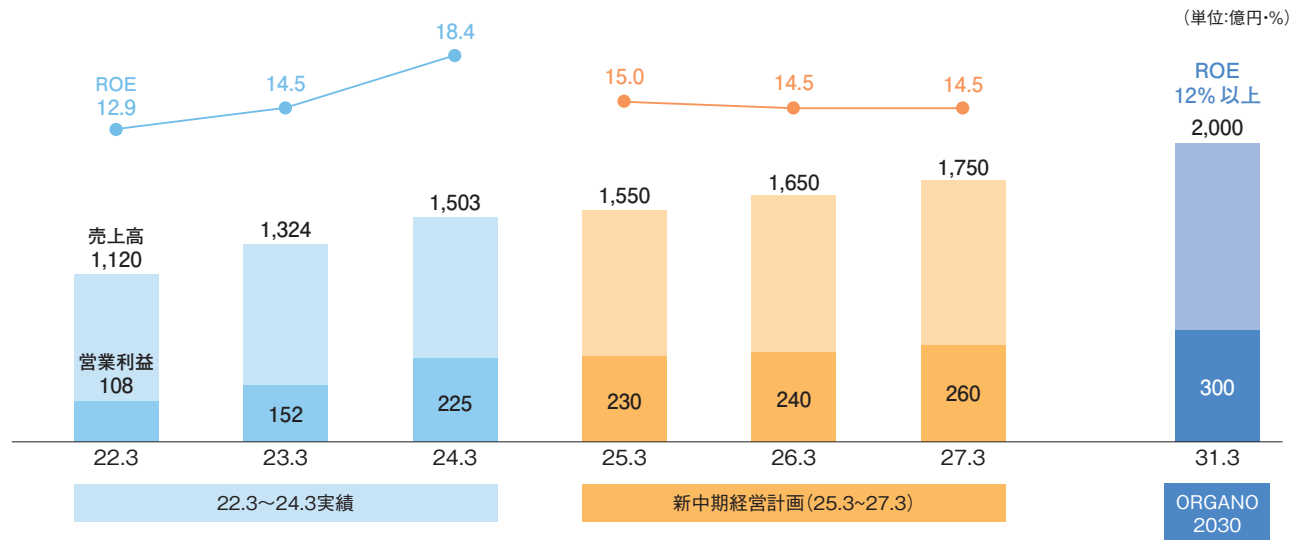


中長期経営計画の目標値

(単位:億円)

	2023年度実績	新中期経営計画		ORGANO 2030
		2024年度期初計画	2026年度計画	2030年度計画
売上高	1,503	1,550	1,750	2,000
営業利益	225	230	260	300
ROE	18.4%	15.0%	14.5%	12%以上

- 長期経営計画“ORGANO 2030”に基づき、毎年3ヵ年の計画をローリングして策定
- 長期経営計画は2030年度に売上高2,000億円、営業利益300億円、営業利益率15%以上、ROE12%以上を目指す
- 3ヵ年計画では2026年度に売上高1,750億円、営業利益260億円の達成を目指す



目標に向けた施策

- 国内外で計画が進む大型の半導体投資の受注を想定。そのためにはエンジニアリングキャパシティ拡充に向けグローバルでの人的資本の強化やM&A、パートナーシップ施策の強化、デジタル投資等を拡充
- 設備保有型契約の拡大や国内外で納入が進む大型プラントに対するメンテナンス、水処理薬品の拡販等に加え、省エネ・脱炭素等サステナビリティ課題に向けたソリューションサービスや機能商品の展開を強化
- 非水溶液等の高度分離精製やリチウムイオン電池の溶剤回収でのビジネス展開と今後の半導体関連投資が見込まれるアメリカでの事業展開を強化

事業分野別比較

